

保健師教育で充実が望まれる実習

A. 継続的個人・家族支援実習

- ・目的:個人・家族の予防機能を促進し、行動変容を促す技術を修得する。
- ・方法:同一対象を一定期間内に複数回支援し、関わり方を評価しながら保健指導技術を改善していく。
- ・目安:月1回の家庭訪問や健康相談を6ヶ月以上実施する。

B. 地域診断・活動展開実習

- ・目的:一定地域を受け持ち、総合的な保健活動戦略を立案・遂行する能力を養う。
- ・方法:地域診断に基づいて地区活動を計画・立案、実施し、評価を行う。各種事業を実施することにより、保健指導技術を確実に習得する。
- ・目安:4週以上の実習。組み立て方は、各養成機関に委ねる。

C. 地域看護管理(地域ケアマネジメント)実習

- ・目的:地域ケアマネジメントについて、ケア資源の管理・評価・開発を学ぶ。
- ・方法:管理的立場の保健師(保健師係長、等)をプリセプターとし、地域の問題の捉え方、将来展望の描き方、連携・調整・施策化の実際を学ぶ。
- ・目安:管理的立場の保健師一人に学生一人がつき、2週間以上実習する。